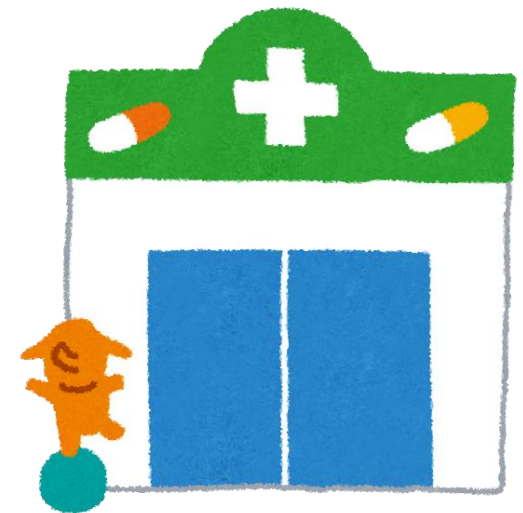


『地域で暮らし続ける』ために 街の保険薬局ができること

千葉県薬剤師会
在宅介護委員会 委員長
武田 郁子

薬局について

- ◆以前は商店街などでお薬を売っていた薬局ですが、病院や診療所から処方箋が出るようになって、処方箋に基づくお薬のお渡しや指導を行うことが主な業務になっています。
- ◆体質やアレルギー、嗜好品、併用薬などを把握して、お薬を安全に飲むための確認を行っています。



薬局と在宅医療

- ◆ 薬局薬剤師も、ご自宅にお薬をお届けしてお薬の説明や管理のお手伝いをする、在宅訪問を行っています。
- ◆ 薬局が必要性を感じた場合に、在宅訪問をお勧めする場合があります。



今日のテーマは

いのちと生活を支える

在宅医療と介護

～地域で暮らし続けるために～

県民向け在宅医療講演会

いのちと生活を支える 在宅医療と介護

～地域で暮らし続けるために～

令和7年
3月22日
13:30▶16:00
(開場13:00)

会場
(千葉会場)

千葉市役所本庁舎1階正庁
(中央区千葉港1-1)

交通

JR「千葉みなと駅」から徒歩7分
千葉都市モノレール「市役所前駅」から徒歩1分

申込
(千葉会場)

申込みはWEBから
▶3/21締切 ▶電話申込もOK



第1部

■(千葉会場より中継)

(オンライン視聴ご希望の方)
第1部は当日こちらからも
視聴可能▼



▲第2部は千葉会場の様子を配信します。
他の会場・現地参加をご希望の方は、必ず
事前申し込みの上、会場へお越し下さい。

▶基調講演1

あなたらしく生きるために:かかりつけ医と在宅医療の役割

千葉市医師会 理事 医師 田那村 彰 氏

▶基調講演2

医療と暮らしをつなぐ訪問看護

千葉県訪問看護ステーション協会 会長 看護師 山崎 潤子 氏

第2部:パネルディスカッション

■(千葉会場にて)

「地域で暮らし続ける」を支える専門職

「地域で暮らし続ける」に向けた各専門職の取り組みを紹介します。

千葉市医師会

千葉市歯科医師会

千葉市薬剤師会

千葉市介護支援専門員協議会

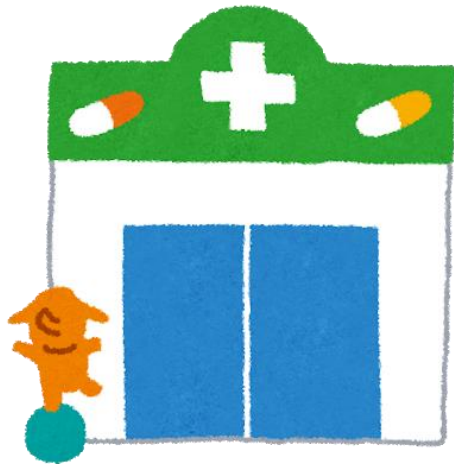
千葉市あんしんケアセンター



主催 公益社団法人千葉県医師会・千葉市医師会 / 共催 千葉市
問合せ 千葉市在宅医療・介護連携支援センター TEL 043-305-5026 FAX 043-305-5079

いのちを支える

薬局窓口で



ご自宅で



効果が出て
いるか見て
います

副作用を
チェック
していま
す

体質に
合うか見
ています

その他必要
に応じた
確認をして
います



生活を支える

心地よく過ごすために



お薬が生活に
影響を与えていな
いか見ています

適切な飲み
方を提案し
ます



お薬をお渡しした後の事も見ています。

『地域で暮らし続ける』ために

- ◆外出が難しくお薬を取りに行けない方も、在宅訪問を受ける事でお薬を切らすことなく安全に治療することができます。
- ◆お薬の専門家である薬剤師が見ると、身体の異変が、実はお薬の影響であることに気付くこともあります。ご自宅での様子を実際に見ることで、正確な状況を把握することができます。



『地域で暮らし続ける』ために

- ◆おひとり暮らしの方などでお薬を正しく飲むことが難しい場合でも、介護サービスなどを上手に使ってきちんと飲めるように、介入します。
- ◆必要に応じて、ケアマネジャーや訪問看護師を始め様々な職種の方々と、お薬に関連した問題点を話し合っています。



人生会議と薬局

◆人生会議は終末期に行うもの？

人生、いつ何があるか分からない

◆どうしたいのか、健康なうちから話しておく

時間と共に変化することを理解する

常に情報更新しておくことが大事

◆薬剤師と話すことが、考えるきっかけになる

お薬のことだけでなく、何でも話してください

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために

ACP 人生会議 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい暮らし・暮らされ）は人生会議の日

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

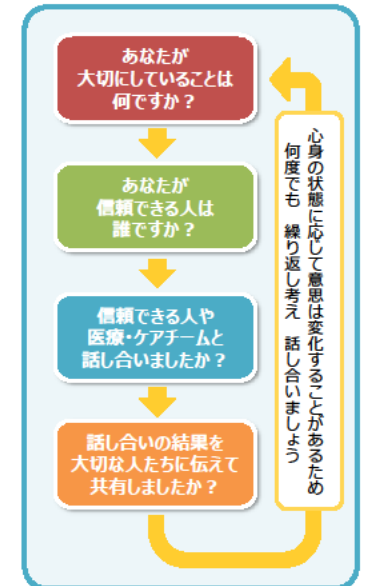
自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。
あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。

話し合いの進めかた（例）



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



薬局でご相談ください

- ◆薬剤師の在宅訪問にご興味のある方は、薬局にてご相談ください。薬局は処方箋が無くてもいつでも入れます。かかりつけの薬局がある場合、まずはそこで相談してください。
- ◆頼める薬局が分からない場合には、行政窓口や、訪問医、ケアマネジャーなどにご相談ください。



最後に

- ◆千葉市薬剤師会では千葉市と協働して、在宅訪問する薬剤師の対応力や他の職種との連携力を高める研修を行い、研修を受けた薬剤師がいる薬局のリストを年に一回発行しています。リストは医療・介護職の皆様に配布しております。
- ◆地域で安心して暮らし続けるために、ぜひ街の薬局をご活用ください。

